

1 学年 国語の学習

5月のめあて

- ①ひらがなを全部書けるようになりましょう。
- ②ひらがなの文を読めるようになりましょう。

6月は5月のめあてが達成できていることを前提に授業を進める予定です。おうちで確認をしながら、学習を進めてください。

③ は 音読 をするところという意味

P. 2～8

①絵を見て、見つけたことを言葉に出してたくさん言わせてください。

③ ②出てきた文は、おうちの人の後について読む方法で練習しましょう。

(一人でも読める子は、毎日繰り返して音読をさせ、褒めてあげてください。)

P. 10

<読み聞かせ>

・一冊～数冊、おうちで読み聞かせをしてあげましょう。

③ ・時には親子で交互に読んだり、感想を聞いたりしましょう。

P. 14～15

<鉛筆の持ち方・姿勢>

③ ①文を読みながら、鉛筆の持ち方と姿勢を確認します。繰り返し音読を。

鉛筆の持ち方については、おうちの人が直してあげてください。

②直接教科書に、線をなぞって練習しましょう。

P. 18～19

<あいさつ>

①お家で先生役と子ども役になり、それぞれの場面で、どんな声掛けをしたらよいか考え、声に出していってみましょう。

(場面にあわせて言葉が言えたら沢山褒めてあげてください。)

P. 20～21

<こんなものみつけたよ>

③ ①文を読んで大体の内容をつかみましょう。繰り返し音読しましょう。

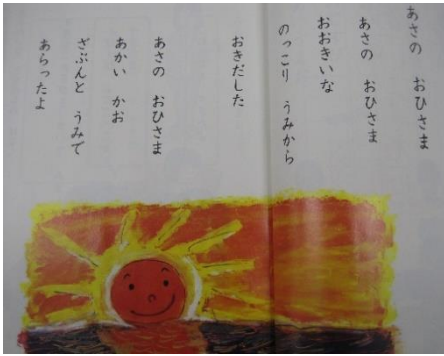
②学校内に限らず、家の周りや花、動物などいろいろ見て、新たに発見したことを おうちの 人に話してみましょう。

(「 —— が ～ です。」と、丁寧な言葉で伝えさせてみてください。)

P. 22～25

<うたにあわせてあいうえお>

③ ①リズムよく音読しましょう。おうちの人と一緒に、あるいは一人で繰り返し読みましょう。



P. 26～27

〈あさのおひさま〉

・国語では言葉を声に出して読むことがとても大切です。お子さんと一緒に教科書を繰り返し読んであげてください。

すき間で区切りながら、すらすらと音読しましょう。おうちの人と一緒に、あるいは一人で繰り返し読みましょう。

P. 28～29

〈ききたいな ともだちのはなし〉

①おうちの人が質問者になって「好きな遊び」や その理由を質問し、お子さんの答えをもとに、発表して見せます。

②次はお子さんに質問者になってもらい、おうちの人が答えたことをもとに、発表させてみてください。

P. 30～31

〈たのしいな ことばあそび〉

①「あ」の付く言葉を5こ言ってみよう といった具合に毎日文字を決めてことば集めさせてみてください。その日に練習した平仮名の付く字でもいいです。

(子どもたちの語彙が広がります。)

P. 32～39

〈はなのみち〉



①親子で繰り返し読む練習をしましょう。

②質問をしてあげ、答えを聞いてあげましょう。

例 ・袋を見つけた時、くまさんの言った言葉は何ですか。

→ 「おや、～いる。」(「 」の部分が話し言葉であることを教えてあげましょう。)

・ p. 32～35 の絵を見て季節を考えさせましょう。理由も聞いてみましょう。

→ 冬 (ストーブ、枯れ木がヒントです。)

・ P. 36 では、袋を開けた時、何も入っていなかった理由を聞きましょう。

→ 穴が開いていたから。

・ p. 38～39 の絵を見て季節を考えさせましょう。理由も聞いてみましょう。

→ 春 (花が咲いているから。)

・ 何で 花の道ができたのでしょうか。

→ くまさんが歩いた道に種を落としたから。

(多少、答え方が違ってても、意味をとらえていけば 褒めてあげてください。)

質問の意味が分かるということも、とても大切な能力です。)

P. 40～41

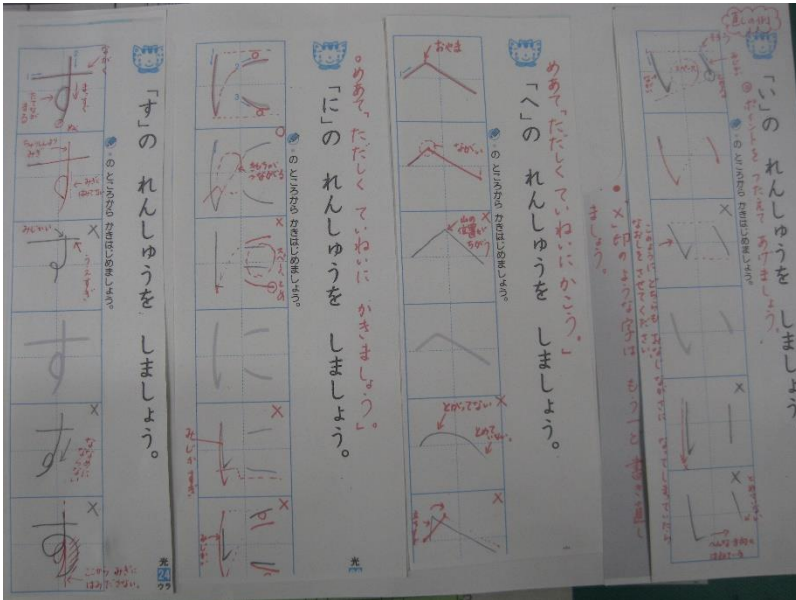
〈としょかんへいこう〉

①親子で繰り返し読む練習をしましょう。

②図書館で本を借りてみましょう。

○「書く」学習について

- ・一つ一つの文字が丁寧に正しく書けているかを見てあげてください。
- ・最初に「いい加減でもいい」と覚えてしまうと、すべての教科でいい加減になってしまい、それを直すのはお子さん自身になります。その都度、丁寧にみて、できたら褒めて○を付けて上げ、習慣づけるようにしてあげましょう。
- ・こまめにみてあげてください。



左の文字は一例です。

〈うまく書けない場合〉

- ・書き出しや、大事なところに点を売ってあげて書かせるのも上達のコツです。
- ・止め、はらい、折れ、線の向きなどが正しく書けているか見てあげてください。

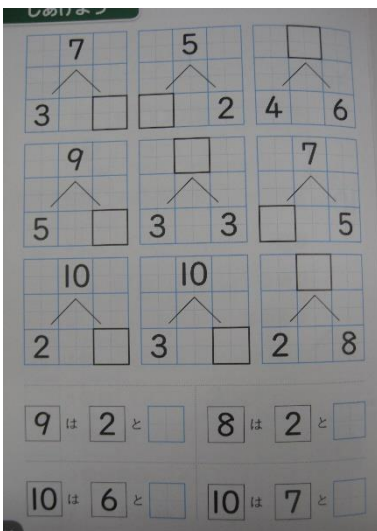
*自分から、ポイントをつかんで書けるようになったら上出来です。

算数 1年 *臨時休業中に10までの数字が書ける、読めるように「しましょう」。

- めあて ①「5は2といくつ」のような数の構成を文でも理解できるようになりましょう。
 ②「5と2でいくつ」のような数の構成を文でも理解できるようになりましょう。

P. 1～19 は数の書き方や数え方をおうちの人と一緒に繰り返し練習しましょう。

P. 20～ 「いくつといくつ」



○数の構成を図で理解できるようにしましょう。

最初は具体物を使いながら。だんだんつかわなくてもできるように、似た問題を繰り返しやってみましょう。

○数字を交えた文の形で問題になると、子ども達が迷いやすいので、繰り返し練習させてください。

例 9 は 2 と □ であれば

9 = 2 + □ の ように

「は」を「＝」に、「と」は「＋」の意味であることを知らせる。

○教科書 35 ページまでの中で、お子さんがちょっと戸惑っているところがあったら、似た問題を
繰り返し練習させてみてください。